

議事

(1) 笠間市子ども・子育て支援事業計画について（平成29年度実績）

意見等	事務局等
<p>【利用者支援事業】 ○延べ訪問者数418名の内訳のその他51名について、どういった方ですか。</p> <p>【地域子育て支援拠点事業】 ○子育て支援講座計37回開催されているが、具体的にどのような講座を行ったのか。</p> <p>○生涯学習課関係から講師を派遣して、就学前の家庭教育関係のお話もさせていただきたい。</p> <p>【子育て短期支援事業】 ○障害のあるお子さんの障害者支援施設の利用について、施設数はどのくらいか。</p> <p>【病児保育事業】 ○具体的に利用する場合、どういう手続きをしているのか。</p> <p>【全体】 ○計画書22ページから24ページの部分、利用定員と量の見込みとしてでた実績報告も必要ではないか。</p>	<p>○その他は、幼児、学童といったものになります。</p> <p>○9月の内容で言えば、保健センターにお願いして、歯科衛生士の方から虫歯予防のお話、警察官、消防士からのお話、ベビーマッサージなど、お子さんとお母さん方が楽しく行けるようなものと聞いてためになるような講座を実施しています。</p> <p>○どういうふうにご子育てをされていていいか、悩んでいる若いお母さんも多いので、これからは取り入れていけたらと思います。</p> <p>○調べて後日回答します。 市内2か所</p> <p>○各保育所の利用については、基本的には在園児対応。地域医療センターかさま病児保育室は、まず利用登録をしていただき、その上でかかりつけのお医者さんを書いてもらった診断書（提供書）を添付して利用を申し込むこととなります。</p> <p>○平成32年度に向けて事業計画の見直しがあるので、国でも方針を決めてくると思います。見直していくことを含めて報告していきたい。</p>

(2) 子育て短期支援事業／地域医療かさま病児保育室 利用状況について

意見等	事務局等
<p>【子育て短期支援事業】 ○原則7日間の利用で、その間、学校を休学していると聞いたが、将来的に何か検討してあげられないか。</p>	<p>○受け入れた施設が送り迎えをしている場合もあります。今後ファミリーサポートセンター等での事業としても検討していきたい。</p>

(3) おしの子保育園、認可定員利用定員の変更について

意見等	事務局等
○意見なし	○潜在的待機児童解消のため、既存の相談室を改修し、0歳児を1名、1歳児を1名、合計2名増しました。また、手洗い場の改修が終了した段階で、平成30年11月1日より、0歳児の認可定員・利用定員が1名増となる予定です。

(4) 幼稚園型認定子ども園こじか幼稚園（接続型）への意向について

意見等	事務局等
<p>○2歳児のみの預かりで接続型の認可保育所をつくることは可能なのか。</p> <p>○給食室の改修や施設整備などに公費は使われるのか。</p> <p>○自費でそこまでやろうと思ったなかで、幼保連携型の意向はなかったのか。</p>	<p>○使っていない保育室を改修し、平成31年1月より自校式給食を開始する予定となっております。また、既存保育室を利用して、平成31年4月より、幼稚園型認定子ども園単独型から接続型へ移行し、接続型認可外保育施設における3号認定2歳児のみの受け入れを開始する予定です。2歳児のみ6名増やす予定です。</p> <p>○可能であると県に確認しております。</p> <p>○園の自己資金という形で改修等しますので国等の補助金は出ておりません。</p> <p>○ヒアリングしたところ、考えていないというお答えでした。</p>

(5) 小規模保育の実施について

意見等	事務局等
	○いちご保育園では、31年4月より、既存の施設を使って、小規模保育施設B型へと移行する予定となっております。通常、小規模保育施設は利用定員19名ですが、園が小さい建物なので11名で行う予定です。0歳児2名、1歳児4名、2歳児が5名です。

意見等	事務局等
<p>○小規模保育事業A型B型C型とはどんなものか。</p> <p>○開所時間は今まで同様、24時間か。</p> <p>○従業員が少ない印象があったので、市の方でしっかりマークしていただきながら、移行の方、進めていただきたい。</p>	<p>○認可基準というのがあり、それぞれに職員数と職員の資格等、保育室、ハードの部分で分かれています。A型B型につきましては、職員数については、配置基準が同じ。職員の資格に関しましては、A型については全員保育士、B型については2分の1以上が保育士であること、ただ、2分の1以上の保育士以外の方については研修が必須となります。保育室については、0-1歳につきましては、1人当たり3.3平米の面積が必要だということと、2歳児に関しましては1人当たり1.98平米の面積が必要だということになっております。あと自園調理ということが条件ということにはなっております。C型につきましては、家庭的な保育ということになりますので、0-2歳児につきましては、職員数は、3対1ということで補助者を置く場合は5対2という割合で職員数の基準を決めております。職員の資格は、必要ではありませんが、市町村が認めたような研修を行う方が従事するという形になっております。面積についても、0から2歳に関しましては3.3平米という条件があることが、ABCという、違いになっております。</p> <p>○計画では、7時から18時という形で進めております。</p> <p>○分かりました。</p>

(6) その他

意見等	事務局等
<p>【笠間市産婦健康診査助成について】</p> <p>○意見なし。</p>	<p>○平成30年4月から産後2週間と1ヶ月の産婦健康診査の費用助成の事業を開始しました。単に費用を助成ということではなくて、産後間診票を取り入れることで、産後うつへの早期対応・支援につなげることができます。</p>

意見等	事務局等
<p>【笠間市立幼保連携型認定こども園の公私連携法人候補者決定について】</p> <p>○意見なし。</p>	<p>○認可定員 200 人以上の施設を 3 年以上運営する学校法人を条件としており、プレゼンテーションとヒアリングを実施し、募集条件に沿った形で審査をおこなった結果、学校法人大成学園というところに候補者が決定いたしました。</p> <p>今後、公私連携型の認定こども園として開園する 4 月に向けて、保護者説明会や議会等の承認を得ながら、引き継ぎ等おこなっていきます。</p>

次回会議日程

平成31年2月～3月頃を予定します。